



令和3年度 第1回学校図書館活用交流会

学校図書館活用実践交流会



船木教育研究所長 荒山図書館長



学校図書館協力員の紹介

中央小/稚中	橋本	湊奈
南小/南中	小原	りえ
潮見小/潮見中	菅野	希
東小/東中	藤田	和美
港小	中村	美由紀

6月25日(金)に稚内市立図書館において令和3年度第1回学校図書館活用交流会が行われました。4名の協力員さんと学校担当教諭2名、荒山市立図書館館長、船木教育研究所所長、市立図書館職員3名、研究所職員2名の13名の参加がありました。

船木所長からは、参加者への謝辞に続き、「筑波大学の教授が家庭における絵本所有率を10年おきに調査している。1990年に比べて大幅に所有率が減少、話の理解度も低下。YouTube等の動画で昔話を見ることが理解度に影響していると考えられている。親子のコミュニケーションが減り、語彙が増えにくいという弊害も生まれている。読書と学力には相関関係があるといわれ、絵本や本に触れ読書の面白さに出会うことは、心の成長や確かな学力につながる。一番身近なところにある学校図書館の果たす役割は非常に大きいと感じます。」と挨拶があり、参加者の自己紹介をして交流会がスタートしました。

最初に荒山館長より「第三次稚内市こどもの読書活動推進計画」について、説明がありました。

その後、選書に関する悩み(児童生徒の読みたい本と教師が薦めたい本のギャップ)や児童生徒の活字離れに関する悩み(ゲームや絵本から読み物に移行しない、本を読む子読まない子の二極化、本を読まない・読解力の低下→学力への影響)や読書に興味を持ってもらうための工夫が交流されました。

また、図書の廃棄や、限られた本棚にいかに関心のある本や新刊を並べられるかが課題と話されました。

最後に荒山図書館館長より、謝辞に続き、「今回は当初5月開催のところ、コロナ事態宣言により本日に至りました。その間、当館も閉館しておりました。色々制限され休止となっているコーナーもあった中で、利用数も以前と比べて少なくなっており、昨年に比べ今年はおよそ半分になっております。しかし、貸出数は10%減とどまっております。外出自粛の中、厳しい環境下で人と接触出来ず苦しい中でも読書というものは捨てたものではないと思っております。今後の図書館運営も親、先生、研究所の皆さんと連携しながら進めていけたらと思っております。」と話され閉会しました。

交流会参加者の感想を一部抜粋して紹介します!

- 毎回、各学校の取組などが聞いて勉強になっています。良い物はどんどん取り入れていこうと思います。
- どの学校さんも同じ様な悩みを持っていて、それが共有されてよかったと思います。選書や子どもたちに本を手にとってもらう難しさ等、共感することが多かったです。
- 学校図書の運営・管理について～教員と図書協力員さんとの打ち合わせができる機会が少ないと困ったことの共有ができず、苦勞されてしまっているんだなあと感じました。
“活字への入り口”の話は教育現場でも悩みどころなので、それぞれ、みんなで考えていきたい事案でした。ラインやインスタなど短い文でのやりとりが主流の現代、活字ばなれから、文章での伝わらなさ→学力低下を日々感じています。
- 色々なお話を聞いて参考になりました。また一年子どもたちに本を読んでもらえるよう工夫したいと思いました。
- 色々な取り組みが知れて勉強になった。図書館をもう少し利用しようと思う。
- 学校現場のお話を聞ける貴重な会議でいつも参考にさせていただいております。今後も積極的にお互いの話を出来ればと考えていますので、よろしくお願いします。
- いつもより具体的な問題、悩みなどを聞くことができたように思います。今後の図書館支援の参考にさせていただきたいです。
- 読書にあまり興味のない児童・生徒にマンガでわかるシリーズやマンガのノベル化された本(鬼滅の刃、コナン、ワンピース等)から読書に興味をもってくれたらと思いました。
- 選書に悩んでいるというお話に共感しました。読ませたい本と読みたい本とのギャップを狭めるのは大変な苦勞があると思います。皆さん、共通の悩みとして取り組めるといいですね。

協力員さんが持ち寄った資料から!!

- 図書館利用のオリエンテーションの実施(基本的な使い方)
- 大型絵本借入(1年生への読み聞かせ)
- 新刊購入(教科書掲載図書、課題図書、北海道青少年のための200冊を中心に選書。中学校では基本生徒のリクエスト本など)
- 新刊案内発行。
- 夏休み特別貸出(学年別おすすめ図書)、読書作文、自由研究コーナーの設置。
- 1学期人気の本ランキング 1位名探偵コナン など。
- 季節の飾り付け(ハロウィン、クリスマス、お正月など)
- イベントの企画、実施。
- 貸出を知らせる校内放送。
- 中学生は図書委員会への熱意があり朝の会で自主的に貸出のアナウンスを行っている。
- 図書館との連携(「サバイバルシリーズ」がとても人気がある)毎日読みに来てくれる子や3日間で25冊も読み終わった子がいる。

令和3年度 第1回英語教育プロジェクト会議開催

第1回英語教育プロジェクト会議を6月2日(水)午後4時から教育研究所にてマイクロソフト【teams】で開催しました。参加学校12校(欠席校4校)、船木所長、所員2名、ALTベサニ、ジェイコブ先生で行われました。

船木所長の挨拶に続き、議題の説明・質疑・交流を行いました。

- ① 「ALT活用状況・派遣について」～1学期は新型コロナの影響で新任ALT着任が遅延になっており、2人体制の派遣となっている。2人にはハードなスケジュールをこなしてもらい、派遣時数を減らす事のないようにしている。
- ② 「ベサニの任期満了」～ベサニ先生が7月をもって、アメリカへ帰国。
- ③ 「2学期のALT派遣校と派遣スケジュール」～新ALTが着任するまで1人体制になる。1人体制案(研究所作成案)をもとに6月中旬～下旬に派遣希望の調整を行う。
- ④ 「令和3年度英語教育研修会(ワークショップ)」～9月14日(火)予定。ワークショップ企画への協力をお願いをしたところ、潮見が丘小学校増子先生に協力していただくことになった。
- ⑤ 「ALTの派遣についての感想・タブレットの活用について交流」各学校のALT担当先生により感想を伺いました。その中で、「ベサニ先生、ジェイコブ先生の派遣を子ども達は楽しみにしていて、楽しく授業している。/柔軟に対応してくれて助かっている。/海外の文化の違いを教えてくれる。生徒と遊んでくれる。/ベサニ先生が任期満了について生徒はとても寂しがっている。」との感想が聞かれました。タブレットの活用は、これからというところが多いようですが、南小と港小でグーグルマップを繋ぎ授業を行ってみた、南中からは検索や英語タイピングをしていけたらと思っている、との意見が出されました。

最後に、ALTのベサニ先生から「6年間すごく楽しかった。一杯思い出があります。これから少ない時間ですが楽しい思い出をつくりたいです。有難うございました。」、ジェイコブ先生からも「今年みんなと活動してとても楽しかった。これからも宜しくお願いします。」と挨拶があり、会議を終了しました。



ありがとう、お元気で!

平成27年8月より6年間にわたり稚内の児童生徒の英語力の向上に尽力してくれたALTのベサニ・ラーソン先生がこの7月をもって米国へ帰国することになりました。難関試験を突破し、8月からはアリゾナ州立大学に通います。